

数学・理科甲子園 2025

令和 7 年 10 月 25 日

「数学・理科甲子園 2025」が甲南大学を会場に開催されました。本校からは、チーム「A i（イナゾニウム）」が出場しました。このチーム名は 2016 年から代々引き継いでいるチーム名で、今年度は A i（イナゾニウム）10 年目の記念すべき年です。

大会は、予選の筆記競技から始まります。個人戦では 3 名が、その後の団体戦では別の 3 名が協力して、数学・理科分野の問題を解きます。本校は参加 65 校中の上位 16 校に入り（5 位）、本選に進みました。

本選では、思考力や表現力を要する数学分野の課題に取り組めます。本校は 3 位までに入り、決勝に進みました。

決勝戦は灘高校、白陵高校、そして本校の 3 校で争いました。決勝は与えられた課題を解決し、さらに自分たちの考え方について iPad を使ってプレゼンテーションします。

決勝の課題は非常に興味深いもので次のようなものでした。

ダンゴムシがある経路を移動する様子を観察して、移動の仕方についての特性をつかみ、ブロックを用いながらダンゴムシがちょうど 30 秒でゴールするような通路をチームで協力して作成する課題。ただし、経路上に T 字の分岐路を 3 つ設置するという条件がある。（ダンゴムシがその分岐をゴールの方向へ向かって通過していかないといけない。）

観察力、分析力、そして、想像力、決断力、様々な力を要したと思います。ダンゴムシは生き物なので、運も要したかもしれません。

結果は、見事準優勝！ 優勝こそ成りませんでしたが、堂々の準優勝でした。

A i（イナゾニウム）は 6 名の登録メンバー以外に、1 年次も含めた 14 名のチームです。登録者以外のメンバーで大会運営のボランティアなども務め、大会運営に協力させていただきました。また、昨年度メンバーの 3 年次生も陰で協力していたそうです。

本当におめでとう。A i（イナゾニウム）の遺伝子はこれからも後輩へ引き継がれていくことでしょう。



開会式の様子



予選の様子。3人ずつ個人戦、団体戦に臨みます。

予選問題の1つ：図のように水中のある物体をほぼ真上の空气中、物体の大きさはどのように見えるか。次の①～③の中から適切なものを1つ選びなさい。(図は省略)

①変わらない ②大きく見える ③小さく見える (答えは②)



決勝戦の前に



表彰式にて



Ai(イナズニウム) 全員での記念撮影